

# 大垣市立東中学校で防災講座を行いました

令和6年6月13日（木）、大垣市立東中学校で2年生約240名に防災講座を行いました。この講座は、今年で3回目の実施となります。

講座では、伊勢湾台風や大垣市でも被害のあった昭和51年の9.12豪雨災害など過去に発生した水害について学び、その後、代表41名がVRによる浸水疑似体験、体験者以外は浸水疑似体験映像や短時間に水位が急上昇した神戸市の都賀川の出水、10年前に発生した南木曾の土砂災害などの映像を視聴しました。

VRを体験した生徒からは、「家族と話し合ったことが無かったので家に帰ったら話し合いたい」「警報が出たらすぐに避難したい」などの感想がありました。

講座とは別に、生徒が目隠しや長靴を履いてプールの中を歩く浸水時歩行の体験も行われ、VRによる浸水疑似体験との組合せで、より効果的な防災学習となっていました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。



浸水時歩行体験

